

# モニタリング結果報告書 (平成28年度)

## 1. 施設概要

施設名	おだわら諏訪の原公園		
所在地	小田原市久野・府川・飯田岡		
サイトURL	http://www.seibu-la.co.jp/suwanohara/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(平成18年3月)		
指定管理者名	おだわら諏訪の原公園パートナーズ		
指定期間	H27.4.1～H32.3.31	施設所管課	都市公園課

## 2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>利用状況の評価はA、利用者の満足度の評価はS、収支状況の評価はAで、3項目評価はAとなった。引き続き、高い評価を持続するよう、努力してほしい。</p>	
<p>&lt;各項目の詳細説明&gt;</p> <p>◆管理運営等の状況 提案に基づいて植物管理や施設の清掃、イベント・プログラムの開催など、安全で快適な利用空間の提供に努め、おおむね事業計画どおりの取組を実施した。</p> <p>◆利用状況 PR等の努力により、利用者数が目標達成率105.1%となり、A評価となった。対前年度比では、利用者数が108.2になっている。</p> <p>◆利用者の満足度 県が年間5回調査を実施し、上位2段階の回答割合が96.9%となったため、S評価となった。</p> <p>◆収支状況 計画的な取組を行い、黒字を計上したため、A評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等 利用者の自転車の走行や犬の散歩方法等について声が寄せられたが、注意喚起の看板設置等の対応策をすぐに講じ、サービス向上につなげた。利用者からの意見にも適切に対応しており、良好な運営管理状況にある。</p> <p>◆事故・不祥事等 9月15日の草刈り中に飛散防止対策を行っていなかったため、走行中の車を傷つけた。指定管理者は再発防止策として、危険箇所マップを作成し、今後はハンドル式草刈機を使用しながら、防護ネットの使用か専任の監視員をつけることとした。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p> <p>◆その他 なお、平成28年度の3項目評価についてはA評価とした。地域との連携やPRの強化、ボランティア団体の育成等により、更なる利用者の獲得と高い利用者満足度の維持に努めてもらいたい。</p>	
3項目評価	<p>S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要</p> <p>※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう</p>
A	

## 3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	月2回程度	
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無		指導・改善勧告等の内容
	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	

#### 4. 管理運営等の状況

[ 指定管理業務 ]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
眺望を活かした、四季の花のみどころづくり	ローラー滑り台近くの斜面に、大規模花壇の創出に向け、セイヨウアサガオの植栽を試行。また、市道沿いや園路沿いを中心に菜の花やコスモスの播種等を行った。	西洋アサガオについて、改善点はスタッフ間で共有してもらい、次年度以降、公園の目玉になるよう努めてほしい。
地域やボランティアと連携したにぎわいある果樹園づくり	今年度からボランティアの運営を開始。地元の有識者を講師に招き、管理方法の検討も行った。	ボランティアの方々との協働で、果樹園のさらなる活性化や、伝統的な風致景観の継承に取り組んでほしい。
利用促進のための「にぎわいイベント・プログラム」の実施	常設体験コーナーのクラフトコーナーを始め、1日3回実施しているラジオ体操等の未病対策、子供向けのもの、環境学習や文化伝承のイベント等を多数実施し、新たなイベントも導入した。またチラシの作成配布にも力を入れており、FacebookのPR活動も今年度開始した。	年間を通じたイベントやプログラムは利用者からの人気は高い。今後更なる工夫を期待したい。今年度スズメバチの襲来により実施できなかった養蜂イベントは来年度以降期待したい。
地域とともに公園の魅力を上させ、地域活性化に貢献する	地元の自治会との意見交換、教育機関の職場体験の受け入れ、地域の方の作品発表の場の提供等、地域と連携して管理運営を行った。	今後も引き続き実施して行ってほしい。様々なイベントを企画し、作品発表の場を提供して行ってほしい。
災害に備え、誰もが安全安心快適に利用できる公園づくり	清掃管理や施設点検が行き届いており、また、防災イベントを実施するなど、安全安心快適に利用できる公園づくりに取り組んだ。	清掃管理は利用者から評判が良い。防災イベントも今後更なる工夫に努めてもらいたい。

[ 参考：自主事業 ]

事業計画の提案内容	実施状況等
自動販売機の設置	飲料・スナック菓子等の自動販売機を設置した。
売店やケータリングカー等の営業	イベント開催時等の繁忙期に売店やケータリングカー等の営業を行った。
バーベキュー場の運営	平成29年度の設置に向けて調整中。

#### 5. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。
A	

	前々年度	前年度	平成28年度
利用者数※	124,207	140,778	152,335
対前年度比		113.3%	108.2%
目標値	70,000	110,000	145,000
目標達成率	177.4%	128.0%	105.1%

目標値の設定根拠： 前々年度：平成22年度実績の95%  
前年度、平成28年度：事業計画書記載目標値

利用者数の算出方法（対象）： 目視による計数と団体利用者数からの推計

[ 参考：最大利用可能人数/年 ]

					合計
定員					
年間利用可能日数					
最大人数※	0	0	0	0	0
稼働率	%	%	%	%	%

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

## 6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	県により休日3回、平日2回の計5回調査	指定管理者による適切な公園管理により、前年度と同様に利用者から高い満足度を得ている。

[ サービス内容の総合的評価 ]

質問内容 公園の管理運営状況を総合的に見るといかがでしたか？

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 128 / 128 = 100.0%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	90	34	0	4	0	128	ゴミもないし、しっかりしていると思う
回答率	70.3%	26.6%		3.1%			
前年度の回答数	106	53	5	2	0	166	
前年度回答率	63.9%	31.9%	3.0%	1.2%			
回答率の対前年度比	110.1%	83.2%	0.0%	259.4%	0.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[ 参考：職員の対応状況 ]

質問内容 公園スタッフの対応はいかがでしたか？

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 77 / 77 = 100.0%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
職員の対応状況の回答数	56	13	7	1	0	77	建物内では案内をしてくれたり親切
回答率	72.7%	16.9%	9.1%	1.3%			
前年度の回答数	64	19	5	2	0	90	
前年度回答率	71.1%	21.1%	5.6%	2.2%			
回答率の対前年度比	102.3%	80.0%	163.6%	58.4%	0.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[ 参考：その他 ]

--

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計/支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B (概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

[ 指定管理業務 ]

(単位:千円)

		収入の状況				収入合計	支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の内訳			支出	収支差額
前々年度	当初予算	75,926	0	0		75,926	75,926	0	100.00%
	決算	75,926	0	0		75,926	75,646	280	100.37%
前年度	当初予算	63,241	0	797	自販機797	64,038	64,038	0	100.00%
	決算	63,241	0	1,728	自販機1,728	64,969	63,676	1,293	102.03%
28年度	当初予算	63,241	0	853	自販機853	64,094	64,094	0	100.00%
	決算	63,241	0	1,782	自販機1,782	65,023	64,529	494	100.77%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数			(単位:千円)
28年度 /	前年度 /	前々年度 /	

<備考>

[ 参考：県が支出した修繕工事費 ] ※県が支出する計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額(千円))
平成28年8月	432	修景池水汲み場 滑り止め舗装(432)

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等： 300千円以上)

[ 参考：資本的な収入及び支出等の状況 ]

	金額(千円)	内容(金額(千円))
収入		
支出		
積立		

## 8. 苦情・要望等

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	件	なし	
	件		
職員対応	件	なし	
	件		
事業内容	件	なし	
	件		
その他	口頭 2件	①(利用者の)猫への餌やりは困る ②スピードを出している自転車が危険である ③犬のノーリードの散歩は困る	①②③利用者へ注意 ②注意喚起の看板設置 ③イベント等での啓発運動、園内放送や看板設置は対応済み
	電話 1件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

## 9. 事故・不祥事等

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況(内容及び実施日を記入) ③その後の経過(現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等) ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無(有の場合は概要を記入) ⑤原因及び費用負担の有無(費用負担が有の場合は内容および負担者を記入) ⑥記者発表の有無(有の場合はその年月日を記入)
平成28年9月15日	①乗用式草刈り機にて作業中のスタッフが、市道を走行していた小田原市環境事業センターのバックカー車の運転手より「走行中に音がしたため確認したところ、車体に傷があることを確認した」と申し出を受けた。 ②9月15日に指定管理者より電話にて一報を受け、翌日、書面で確認をした。 ③けが人はなかったが、バックカー車に小豆大の傷がついた。再発防止について、当日作業員を集めてミーティングを行い、草刈作業上で危険な箇所や飛び石の注意をしやすい箇所のマップを作成し、スタッフに周知した。また、危険エリアでは飛び石の注意をしやすいハンドル式草刈機を使用し、防護ネットの使用か専任の監視員をつけることとした。 ④なし ⑤草刈時に飛散防止対策を行っていなかった。塗装は環境事業センターで行い、特に弁償を求められることはなかった。 ⑥無

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

## 10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査(包括外部監査含む)又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。